

市政記者各位

平成 28 年 11 月 2 日
福岡市博物館

平成 28 年 **11 月 26 日 (土)**

第 12 回福岡市史講演会

「空の福岡、海の福岡 ～近代都市福岡の来歴を語り直す～」 を、福岡市博物館講堂にて開催します。

福岡では、空港ターミナルが大改装中。臨海部に目をむければ、新しい埠頭や展示場が計画されています。九州大学移転プロジェクトも進み、キャンパス跡地のまちづくりもスタートしています。

都市の装いが大きく変わろうとする今、福岡の過去 100 年の発展の軌跡をたどる講演会を開催します。

開 催 概 要

- (1) 名 称 : 第 12 回福岡市史講演会
「空の福岡、海の福岡 ～近代都市福岡の来歴を語り直す～」
- (2) 日 時 : 平成 28 年 11 月 26 日 (土) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分
- (3) 場 所 : 福岡市博物館 1 階 講堂
- (4) 料 金 : 入場無料、資料代 100 円 (希望者のみ)
- (5) 内 容 : 講演 1 「戦前期における民間航空の発展と福岡市」

講師 柴多一雄氏

(長崎大学名誉教授、福岡市史編集委員会 近世専門部会部会長)

1936 年 (昭和 11 年)、雁ノ巣に開港した福岡第一飛行場は、開港当時、日本最大の国際飛行場でした。空路における福岡の重要性を、当時の人々が都市発展にどう活かそうとしたのかを検証します。

講演 2 「戦後期の福岡市政における臨海部開発の計画」

講師 石橋知也氏 (福岡大学工学部社会デザイン工学科助教)

1960 年代、国内の多くの都市は、臨海部に工場が並びエントツがそびえる工業都市を目指しました。そんな中、福岡市は、商業や流通の発展に成長の機運を見出します。60 年代の臨海部開発計画の大転換の経緯と影響を検証します。

セッション「近代都市福岡の来歴を語り直す」

柴多一雄氏 × 石橋知也氏 × 有馬 学

(福岡市博物館長、福岡市史編集委員会委員長)

■お問い合わせ先

福岡市博物館 市史編さん室室長 福間 (ふくま)

栗原 (くりはら) 杉山 (すぎやま)

電話 092-845-5245 FAX 845-5019 〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1